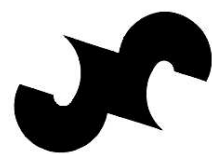


工業部会通信



相模原商工会議所
工業部会発行

編集
かながわ経済新聞社
代表：千葉龍太
〒252-0239
相模原市中央区中央3-12-3
TEL：042(851)2021
FAX：042(851)3532
プリントしてご自由に
お読み下さい。



海外販路開拓 可能性探る

GETプロがセミナー テーマは「展示会活用」

工業部会GETプロジェクト(早川正彦委員長「早川銘板製作所社長」は、地域中小企業が、海外市場で販路を開拓するための勉強会を行う。来年の第一弾として2015年1月28日に「世界市場で戦うメイド・イン・ジャパン」海外展示会の現状と市内企業の進出事例」と題した経営セミナーを開催。海外展開の第一歩として「展示会、見本市の活用」をテーマに、専門家が解説する。

同セミナーは、午後6時半～同8時まで、市立産業会館4階で開催される。講師は海外展示会などをプロデュースするアクトインターナショナル(東京都港区)の谷口昭雄社長が務め、海外展示会の状況や出展ノウハウについて解説する。市内企業の事例紹介もある。インドネシアで今月開かれた「マニラ・アジア2014」に出展した大丸製作所(中央区田名)の杉田豊範社長、向洋技研の中村順一係長、サポートした相模原市産業振興財団・中村浩シニアマネージャーらが出席の成果を報告する。参加無料。定員40人。

山口自動車 横浜SCが本格稼働 京浜臨海部の需要開拓へ

工業部会員の山口自動車(中央区下九沢)は、横浜市金沢区鳥浜町6丁目1番地に新設し、本格稼働させた。

敷地面積約2000平方メートル、ここに建築面積約500平方メートルの建物を設けた。山口誠志社長は「本社工場のサテライト店と位置づける。より大型の車両整備は(相模原の)本社工場で行いたい」と話している。



現場の鳥浜工業団地は数多くの工場が立地するばかりでなく、横浜・川崎の産業集積地にも近いため、車両整備の需要が高いとみている。

山口自動車は主力とする自動車、特殊車両の整備事業のほか、乗用車販売、観光バス、物流事業など幅広く手掛けている。(記事提供・かながわ経済新聞)

マーク電子が 新工場建設へ

県は、企業誘致政策、インベスト神奈川セカンドステップ・プラス」として工場新設など計6社の事業計画を認定した。認定されたのはマーク電子(相模原市緑区)、HK T(東京都八王子市)、永井機械製作所(茅ヶ崎市)、ニフコ(横浜市戸

塚区)、コスメナチュラルズ(東京都中央区)、東京計装(東京都港区)。マーク電子は、相模原市緑区橋本台1丁目の現本社・工場の近隣にある自社敷地内に新工場を建設する計画。新工場には独立した医療機器の製造ラインを設け、同分野の開発、製造を加速させる。2014年9月の操業開始を予定。投資額は1億4100万円となる見込み。

HK Tは来年9月をめどに、相模原市緑区西橋本5丁目1番地に本社・工場を新設する。都内3カ所、県内1カ所に分散している拠点を新工場に集約。自動車部品を生産する。(記事提供・かながわ経済新聞社)

参加。同例会は、今年度に青工研会員8人が卒業することから、長く支えてきた諸先輩から青工研の歴史について学び、伝統を受け継ぐために企画されたという。当日は8人の卒業生が一人ずつ、これまでの経営者人生や青工研で学んだことについて発表、どれも現役会員の成長を願う気持ちが入り込んでおり、参加者たちは熱心に聞き入っていた。例会の合同に行われた懇親会では、卒業生と現役会員が熱く語り合い、お互いの絆を深めていった。詳細はさがみはら商工会議所会報1月号に掲載

ロボットビジネス協議会 介護分野参入でセミナー

さがみはらロボットビジネス協議会は12月10日、相模原市民会館で、生活支援ロボット開発にむけた介護・福祉ビジネスのポイントを」と題したセミナーを開いた。市内の産業関係者ら約70人が参加した。同分野のロボット産業の市場規模は、今後拡大が見込まれており、中小企業の参入が期待されている。第一部は「介護保険制度の概要について」をテーマに、相模原市保険高齢部中央高齢者相談課の江成俊介主事が保険給付の判断基準や給付対象となるための機器について解説した。第二部では、社会福祉法人・相模福祉村の赤間源太郎理事長が講師を務め、「介護・福祉施設における福祉機器ニーズに」ついてのテーマで説明、介護施設における課題、今後想定される市場の状況(高齢化、介護の重度化、介護職員の処遇改善)などを話した。さらに、解決策として企業と連携し、現場の省力化に向けたロボット活用をしていくための「介護現場課題解決研究会」の設立も提案した。第三部では実際に介護現場で用いられる福祉機器を製造販売しているハイツイコー(横浜市緑区)の浅井悦男社長が登場。メーカーとしての視点で福祉機器の開発事例や今後の課題などについて話していた。

青工研 卒業生主催 例会を開催

相模原市青年工業経営研究会(青工研、渡邊将文会長)は昨年11月29、30日、相模川自然の村清流の里で、卒業生主催例会(井上毅実行委員長)を開催した。会員42名が



説明する井上実行委員長

参加。同例会は、今年度に青工研会員8人が卒業することから、長く支えてきた諸先輩から青工研の歴史について学び、伝統を受け継ぐために企画されたという。当日は8人の卒業生が一人ずつ、これまでの経営者人生や青工研で学んだことについて発表、どれも現役会員の成長を願う気持ちが入り込んでおり、参加者たちは熱心に聞き入っていた。例会の合同に行われた懇親会では、卒業生と現役会員が熱く語り合い、お互いの絆を深めていった。詳細はさがみはら商工会議所会報1月号に掲載



Town Value-up Management

タウン バリュースアップ マネジメント

美しい時代へ— 東急グループ

- 街並の美観向上
- 定住人口の増加
- 来街者の増加
- 資産価値の向上

Town Value-up Management